

福岡県北九州市・印刷業
グランド印刷の場合

経営理念をシステムで具現化

従業員が経営者感覚を持てる会社に 業務の情報をクラウドで見える化

会社概要

グランド印刷株式会社

福岡県北九州市門司区松原1-2-5
代表取締役：小泊玉志郎 氏
設立：1969年
従業員数：30名
事業内容：シルクスクリーン印刷、サイン・ディスプレイ、
ダンボールディスプレイ、各種販促支援
URL：http://www.grand-in.co.jp/



各種サイン



リサイクルできる紙で作った什器類



東京に支店を
開設した200
8年9月。直後
にリーマンショッ
クがやってきた。
PR・広告の仕事
は軒並みストッ
プ。「あきらめて
北九州に帰るか

「グランド印刷の小泊勇志取締役は眠れない夜を重ねた。しかし、粘って営業活動を継続したことが活路を開く。現在は東京からの売上が3分の1を占め事業の伸長に貢献。また、クラウド型「見える化システム」の導入も、東京での体験がきっかけだった。

社長就任前から 現場の指揮を任せられる

「水と空気以外には何でも印刷します」のキャッチフレーズで、看板や広告、サイン・ディスプレイなどのシルク印刷を手がけるグランド印刷は、現社長の小泊玉志郎氏が創業。福岡と東京に支店を持つ。

社長の子息である小泊勇志取締役が入社した後は事業領域を広げ、リサイクル可能な紙でディスプレイや什器を制作する「バリューフリープロジェクト」など新商材にも挑戦。大手不動産会社の販促を一手に引き受けるなど、不動産業に強いのも特徴である。小泊取締役は、すでに事業戦略や現場の指揮を任せられており、社長は主に財務面を担当している。

散在する業務情報、 作業工程の無駄をどうする？

小泊取締役は新規顧客の獲得に駆け回る一方で、社内にITシステムの整備が必要と、肌で感じた。「出張用にノートパソコンを購入しましたが、本社にある情報は

扱えませんが。電話して名刺情報を探してもらったり、どのパソコンから返信したメールかがわからなくなったり…。また東京で作成した受注伝票をFAXで送り、本社でシステムに入力するのも無駄が多いと感じていました」

印刷業は顧客ごとに仕事内容が異なり工程も変わる。さらに変更や急な依頼もあり、工程管理のシステム化が難しい業種の一つだ。

自らを「ITに疎い」という小泊取締役だが、勉強を進めるなかで、クラウドで情報を見える化するのことに価値を見出し始めた。また取り組みを通じて新しい組織体制も作れると、期待は大きく膨らんだ。

情報収集の過程で「システム化の相談はITコーディネータ（ITC）」に」と記憶していた小泊取締役は、2010年5月、中小企業基盤整備機構に相談し、「戦略的CIO育成支援事業」のチーフアドバイザーとして、ITC荒添美穂氏の訪問を受けた。

荒添氏がまず行ったのは、目指す方向を理解し、内容を切り分けて優先順位をつけることだった。



取締役兼福岡・東京支店長 小泊勇志氏

「非常に意欲的でいらつしやるゆえ、実現したいことが溢れていました。そこで経営戦略からIT戦略へ大きな流れを整理し、クラウド構築の具体的な部分は、この分野のエキスパートであるITCの正木さんにご担当いただきました」と荒添氏は振り返る。

ITC正木淳氏は「ITを入れたら飛躍的に効率化する」と感じたといい、早速システムの提案依頼書（RFP）作成をサポート。

2012年3月に、試験導入に至った。オリジナルシステムを開発し、クラウド上で運用する方式とし

ため、「いつでもどこでも仕事ができる」環境が実現。同時にグループウェアやドキュメント管理に「Google Apps」、コミュニケーションツール「Chat Work」を導入し、情報共有に役立てている。

システムで経営理念が具現化 ITを使った新ビジネスも

新システムでは、受注から工程管理、請求までを一元管理。顧客ごとの取引実績、営業担当者ごとの業務管理はもちろんのこと、受注ごとの粗利管理もできる。これ

は、小泊取締役の「数値化・見える化」によって皆がコスト意識、そして経営者感覚を持つてほしい」との思いを具現化したものだ。自らの考えは、定期的に伝え続けているため、従業員もシステム活用の意図をスムーズに理解できたという。

現在は、QRコードを利用した不動産会社向けの新規事業にも挑戦（上図参照）。顧客のビジネスをさらに深くサポートしていく予定だ。

システム構築を機会に経営理念がより明確になったグランド印刷は、常に「次」を目指す。

新規事業にも取り組み中

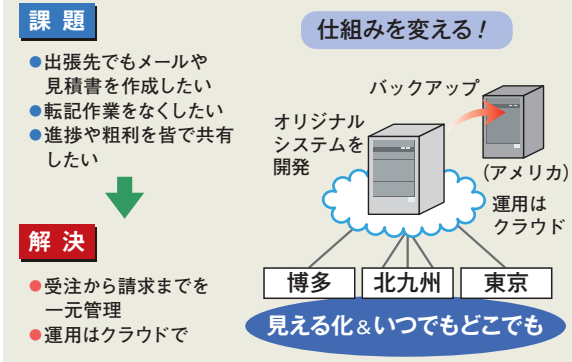
『モバカン』サービスとは…

募集看板からQRコードを読み取ると…物件の中身が**見える！**
モバイル看板です。



QRコードを使って部屋の中の様子を見られる、新サービス「モバカン」。不動産業界のビジネスをサポートする。

グランド印刷の取り組み



サポーター紹介



ITコーディネータ
荒添 美穂 氏
有限会社インテリジェントパーク
代表取締役



ITコーディネータ
正木 淳 氏
Eスタジオ 代表

グランド印刷のクラウドシステム導入支援は二人のITコーディネータのコンビネーションによって進められた。小泊取締役は、「自分だけではとてもここまでできませんでした。ITコーディネータと一緒に考えながらシステムを作るサポートしてくれるのだからと予想していましたが、その通りでした」と目を細める。

荒添氏は、この分野で20年のキャリアを持ち、500社近くの企業の支援実績がある。新ビジネス立ち上げのアドバイス経験も豊富だ。自らも10人程度のスタッフを有するコンサル会社を営んでおり、経営者の置かれた環境を熟知している。

今回のクラウドシステム導入では、小泊取締役の考えを整理し、実現するための流れを作った。その後も巡回アドバイザーとして進捗をサポートしている。

正木氏は、システムエンジニアとして活躍後、独立し中小企業向けシステムの提案から開発業務、マネジメントに携わる。

現在ではITコンサルタントとして、業務システムのクラウド化を推進。業務効率化や共有化を行うためのプロジェクト実施設計支援を主に、活動している。

本事例においては、ITベンダーへの要求仕様書の作成、調整役を務め、オリジナル開発したシステムをクラウドで運用、という新しいIT活用のあり方を支援した。